



四季おりなす絵巻『長江・信濃川』 文・和田文義 絵・伊藤栄一

さとのうた

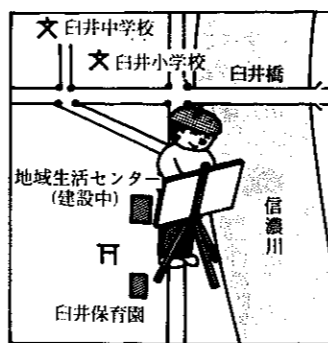
長江 369キロ、1,226平方キロの流域をはぐむ信濃川は、女人の帯を解くように蛇行の度を深め、水を治める先人の悲痛の叫びがしのばれる。

遠景よし、近景もまたよしと極めて変化に富んだ景観を見せてくれる。思いがけなく昭和初期の日本画家「小川芋銭の絵」に出会ったり、緑を残す一群に秋なら鮮やかな紅を流す木々に見とれたり、ときには足もとのきじに驚かされたりもする。

四季折々の眺めは、晴れても降っても霞んでもまたよし。気分転換によく川岸に立つが、美を尋ねるには川舟で下るか、川沿いの道を歩くことにしている。



和田文義さん (白井)



小林加代子ちゃん (11か月) 勝秀さんの長女=水道町

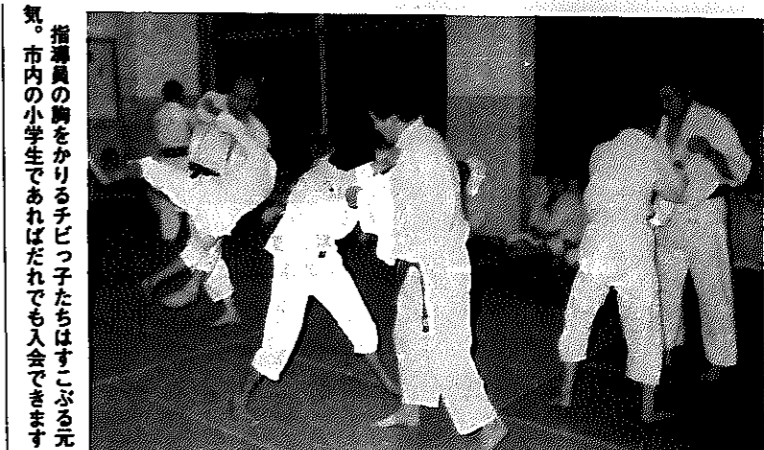
「とてもヤンチャで、自分の思いどおりにならないと、すぐたたくんです。お菓子と果物が大好き。健康でやさしい子に育ってほしいです」(母親・洋子さんの話)

わが家のアイドル



果物を買ってくれるやさしいおじいちゃん 大通小学校5年 成海真由美

うちのおじいちゃんは、七十歳を越えています。とても元気です。車の運転もできます。私がそろばん屋に遅れそうなのや、天気の悪い日は車で送ってくれます。こんなときのおじいちゃんは大好きです。



指導員の胸をかりるチビっ子たちはさすが元気。市内の小学生であればだれでも入会できます

道場せましと元気いっぱい

白根柔道教室スポーツ少年団

白根第一中学校柔道部が全国大会で大活躍の知らせに、白根柔道教室のチビっ子や指導員のみなさんも大喜び。それもそのはず、選手の約八割が柔道教室出身者ということ。白根市は昔から柔道の盛んなところ。十五年前、柔道を通して少年の健全育成を図り、後継者を育てていくために柔道教室を創設。三十七人の子どもたちは、渡辺栄吉会長をはじめとする八人の指導員のもと、一生懸命練習に励んでいます。



【会員の声】 石口正史さん (白根小・3年生)

柔道をやってみたくて、教室に入れてもらいました。練習はとっても楽しいです。定例日が待ち遠しくて...。これからも続けていきます。女の子は私一人。もっと女の子からも入ってほしいです。

朝はとも早起きです。天気の良い日は、新潟の朝市に出かけていき、私の好きな果物を買ってきてくれます。おじいちゃん、元気で長生きしてください。写真は、真由美ちゃんとお父さん(七十歳・薙の木様町)

- さがして「います」 ゆずって「ください」 求めて「います」 仲間「なりません」 ご参加「ください」 停電「します」 大塚「地区」 白根「地区」

広報 しるね

1 昭和56年 月1日号 No.292

主な内容: Zoomアップ 戸石新田八幡宮のしめ縄作り 2~3, まちの話題 国語科研究会、一日消防署長ほか 4~5, 市民談話室 困ります、歩道の商品陳列 6~7, あの日のあとき 市道8号線 8~9, 市民の広場 もちつきのプレゼント/チビっ子画 廊/市史よもやま話/市民文芸/ママのコーナー 白根柔道教室スポーツ少年団/情報センター297 10~12

毎月1・15日発行

発行/白根市役所(大字白根1235 ☎0253 ㊤2111 〒950-12)



記事の説明: どの号、どのページ、お問い合わせ先

情報提供は ☎73-2111 ㊤297へ